

磐城時報

石城郡平沼町十四番地
電話 八四一
印刷 磐城時報印刷所
代印 印刷所 磐城時報印刷所
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

磐城炭礦の提案を 湯本町で拒絶す

湯本代表炭礦を訪問したが 結局物別れとなる

磐城炭礦が湯本町の温泉並びにこれには相當時日を要するものと見られてゐる。

四倉築港 促進 陳情

石城郡四倉町では築港實現促進 陳情のため野崎、若松、鷲三縣 議員と共に十三日出縣陳情し を試みられてゐたが、十一日正 午小泉町長は十二名の區會議員 並びに廿余名の温泉關係者、磐 城炭礦所に菅原所長を訪問し最 後の交渉をすゝめた結果炭礦側で は第一號案として廣畑坑よりの 送湯を希望したのに對し湯本側 では廣畑坑の湯は悪質で浴湯と はならず、また温度も極めて低 いためにこれを拒絶したので第 二號案の東斜坑よりの引湯につ いて協議したが、東斜坑より湧 出する温泉は温度極めて高き事 廣畑坑の比ではないがたゞ湯湯 に要する電力一ヶ月八百圓と更 に引湯管を一萬五千圓位を埋 没することに、その費用は五年 湯本町の負擔とする事を炭礦側 で主張したので湯本町では負擔 過重を唱へて容易に纏まらず、 結局當日は物わかれの形となつ てそのまゝ引上げたが、解決の 豫定である、右ラヂオ・スナ

磐城中學校で 教育總集會

本縣教育會總集會は六月六、七
の兩日平沼町立磐城中學校に開
會される提出事項は縣教育課で
取調中であり、當日は會長以下役員
の改選を行ふ。

豊間燈臺のラヂオ 八月から放送開始

二百五十哩まで通達

石城郡豊間村燈臺は昭和
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

煮え返つた鐵瓶を 繼母の頭に投げつく

平沼町長橋町小沼春吉二男小沼 次郎(二一)は十二日午前九時頃 繼母カチ(四〇)と口論を始めた カチが次郎の頭部を殴つたので次 郎は憤慨し沸騰してゐる湯の入 つた鐵瓶をカチの頭部に投げつ け大火傷を負はしたので平沼署で 取調中である。

平職紹介成績

求人紹介成績

平沼町職業紹介所去る三月小學
校を募集した少年の紹介成績者
も困つてゐる。

搜索願 一束

一家の主。妻子。レビユー狂の娘

石城郡内郷村大字宮字竹ノ間浦署に搜索願。
坑夫長谷川さく長女千代(一七)石城郡平沼村大字合渡草野野
はレビユーが大好きで炭礦劇場助(三六)は去る十日妻さく(一
巡業のレビユー團の見物ばかりか三六)及び子供三人を置き去り
したことなく最近では着物を入四女と(五つ)を連れ去り、家
質しても見物するといふ有様で
出たので全く生計に困るから
あつたが、十一日現金二十五圓
を母の財布から窃取家出したが
東京レビユー團への入所望ら
一日平沼署に願ひ出た。

平窪の火事

火の粉から火

石城郡平窪村大字中平窪宇高儘
農業相田三(四五)方棟から十
二日午後八時半頃火事発生し
棟を全焼したが、原因は爐に麥
を焚いた火の粉が茅葺根に飛
んで火したもので損害七百圓
である。

紛糾續く

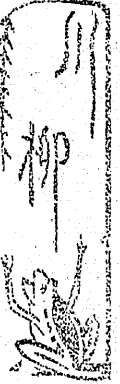
勿來信用組合

石城郡窪輪村大和利之助妻稻
川いね(一九)は夫婦喧嘩の末去
る三月廿五日夜長女みつ(九つ)
を連れて家出土浦町の叔母の許
に立寄つたらしいと夫から土
りた條件をつちのけの状態に異
も出来る。採用資格は資産一
萬圓以上或はその家族である
事が一つの重要な條件となつ
てゐるので、大部分はこの地
方の物持ち階級の人である。
その上、命早々判任二等の待
遇であり、勤続年数によつて
正何位階級といふ名譽も與
へられる、それに犯罪とか重
大な過失でもなければ一生首
なる心配もなかつた。ところが
今一回田村氏の退職によつて
前回の局長武林秀四郎氏は
田村氏が差向けられたために
二十三年勤続の局長を詰腹を
切らされたもので、この例に
より特定三等局長は古手官吏

三等局長物語

救はれた田村彦四郎氏の事

田村彦四郎氏退職以來欠債中
であつた平沼郵便局長は別項の
如く仙臺通信局戸石清氏と決
定したが、さて田村元局長は
その後どうなつてゐるであら
うか、田村氏は任期中中局
員の桑原某が二萬圓の横領
をなしたので結局責任を問は
れ毎月俸の何分の一か宛を政
府に併償してゐたので通信局
でも同情し昇給させた上退職



川柳懷古録
伊達 隠 泉

論あつた小松彌次郎氏を専務理
たものは三分の一の四十名で内
四十七名は最近種々の事情から
申込みを取消したが尙現在四十
五名程未紹介が残つて居り目下
各方面に照會極力求人開拓に努
めてゐるが不況のため一般に探
用を見合せてゐるため紹介所
も困つてゐる。

養老院となるやうな傾向が
あり、通信用では引續いて
行政整理をやる方針であるとい
ふので地方三等局長中には
少なからず氣を揉んでゐるも
のがあるといふ、ところで一
の局長となつた田村氏は今
度は恩給はあるが、二等局長時
代よりは、手當(月給)は請負
制度であるため非常に少い
で、月々償額が二等局長時代
より遙かに輕くなつてゐる
つまり、三等局長になつて生活
がツンと樂になつたといふ評
である。

開業廣告

私儀今般五月五日より左記箇所に醫院を開業耳鼻咽喉科
診療に従事可致候間將來何分の御後援に預り度く御挨拶
旁々御願ひ申上候 敬白

診療科目

耳鼻咽喉科 專門
氣管、食道科 專門

平町字南町一(元真木辯護士跡)

増田耳鼻咽喉科醫院

本醫學士増田之

(入院隨意)

秘傳腫物湯

のんで効く
はれ物の妙薬

主一、面疔、よう乳の腫れ、指のはれ、林巴腺の腫れ
●耳鼻のおでき、骨膜炎、筋炎、はれ物手術の前後
効一等よし
●特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き
痕を残さず美容上最適の治療劑なり

特約店
平町四丁目 小野薬店 四ツ倉町 荒川薬店
平町三丁目 宇佐美薬店 植田町 松本薬店
湯本町 岩瀬屋薬店 富岡町 莊野薬店
腫物湯製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

レコード破りの石炭大特賣

磐城炭礦二等炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は
此度超破格の格安石炭を販賣開始致します
値が安くとも品は悪くはありません
磐城炭礦の處分の大堀出物です、品物の無くならない
中に御注文下さい
配達は一俵より致します

御注文は

電話三三七番へ

阿部石炭商店

五月の御用意

傘日ルソラパ

トルパコ...黒...赤
に挟い長る躍に風微
柄と色の傘日たれ取の和調
と傘なソラパはさる明の月五
...らか粧化おなトーマス

水香堂生資
椿花、薇薔白
ヤルツ
十四百電 四平

久釜屋商店

諸橋久太郎

電話九九番

和洋銅鐵金物問屋

**度量衡計量器
吸入酸素器**

關内藥局
電話四〇番

貨切御用命

三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は
好間・合戸・澤渡方面行

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・アランク・白 1.10
マルソー・ルー・ジ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

鹽豚販賣
田町三二三屋

胃腸 內科 專門
十二指 腸胃病 胃性 腸病
松村 町南町平
校毒 皮膚病 專門
院醫科 (七〇一話電)

鼻の薬「チクノール」
平五 山野邊藥局

債券、公債、兩替金融

多田井質店

平町大工町 (電話五九二番)

急性、慢性を問はず

淋疾は立派に全治す

(一)淋疾尿道炎、(二)消渴、(三)膀胱カク
ルには驚く可き効目がある

高級治淋新薬 **トリプチン**

特約店 **大平屋藥店**
電話六四二番

生花教授

家元龍生派池坊

生花、盛花、投入、自然
營業では御座いません趣味で御相手致し度うございます

平町仲町三

華道教授 天水庵 岡田華悦

滋養二富ミ食ベテオイシイ、胚芽ノトレナ
イ絶對無砂搗ノ風味ノ好イ白米ノ御用ハ

山野邊無砂搗精米所へ
平町仲町(平稅務署前)

電話三一八番

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町 (電話三〇七番)
看護婦派出の需めに應じます